

平成23年度環境技術実証事業ヒートアイランド対策技術分野（地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム）第3回ワーキンググループ会合 議事概要（案）

■ 開催日時・場所

日時：平成24年3月6日（火）10:00～12:00

場所：弘済会館4階「楓」会議室

■ 出席者（委員）

藤井座長、足永委員、大岡委員、笹田委員、関根委員、花崎委員、森委員（委員は五十音順）

■ 議事

1. これまでの検討経緯について（拡大ワーキンググループ会合議事概要を含む）
2. 実証試験結果について
3. 実証試験要領の取りまとめについて
4. 今後のスケジュール
5. 事業運営体制の見直しについて
6. その他

■ 配布資料

資料1 これまでの検討経緯について

資料2 実証試験結果の概要（非公開）

資料3-1 平成24年度実証試験要領改訂内容（案）

資料3-2 平成24年度実証試験要領（改訂案）

資料4 今後のスケジュール（予定）

資料5 新たな環境技術実証事業の実施体制のイメージ（報告）

参考資料1～3 実証試験結果報告書（案）（非公開）

■ 検討内容

1. これまでの検討経緯について
 - ・資料1に基づき、事務局よりこれまでの検討経緯について説明。
2. 実証試験結果について
 - ・資料2に基づき、実証機関、事務局より実証試験結果の概要について説明。

- ・実証試験結果報告書について、参考値とされている揚水ポンプを含めた COP は、必須項目として記載されるべきではないか、あわせて任意項目についても記載を統一すべきという意見があった。
- ・実証試験結果報告書における冷房期間の COP が低い要因について検討した。
- ・地中からの採熱量と排熱量のバランスが崩れた場合の環境影響について今後検討する必要があるのではないか、という意見があった。
- ・申請者記入欄に適切でないと思われる記載があるという指摘があった。
- ・3件の実証試験結果報告書が承認された。

3. 実証試験要領の取りまとめについて

- ・資料3-1、3-2に基づき、事務局より平成24年度実証試験要領改訂について説明。
- ・実証試験要領における記載は、幅広いシステムに対応できるように、「実証申請者と実証対象技術の関係性」や「『下水等熱源×直膨式』の測定箇所」を修正したほうがよい、という意見があった。
- ・熱媒が水の場合は従来どおり実証不要、また実証項目に「比重」を追加することとした。
- ・平成24年度実証試験要領が承認された。

4. 今後のスケジュール

- ・資料4に基づき、事務局より今後のスケジュールについて説明。

5. 事業運営体制の見直しについて

- ・資料5に基づき、環境省より、新たな環境技術実証事業の実施体制について説明。

以上